

居合道だより

令和6年11月

第220号





はじめに

自分の「いい出会い」探そう

理事 廣房 憲治

10月19日第59回全日本居合道大会に、選出された選手3名が出場されました、普段の稽古とは異なる緊張感が漂っていたかと思います。全国から集まる選手たちの真剣な姿勢や高い技術を目の当たりにし、その中で自分自身がどれだけの力を発揮できたかを感じたことでしょうか。このような大会では、ただ技術だけでなく、精神的な強さや集中力の大切さも痛感したのではないのでしょうか、選手の皆様お疲れさまでした。

私が勤める会社では、学生向けにインターシップという企業の文化や職場環境を直接体験する素晴らしい機会をつくっています、短期間でも実際にその会社で働くことで、職場の雰囲気や仕事の内容をより具体的に知ることができます。居合道部では、今年も体験教室に多数の方々が参加されています。武道を経験してみたい、何か運動してみたい、などはじめられた動機は様々でしょう、是非、いい体験をして居合道を楽しんでいただきたいと思います、そのためには周りの方々の初めての経験を楽んでもらい、興味を引き出す気持ちと行動だと思っています。

体験教室に申し込まれた方は、何か新しいことを一歩踏み出す時「やりたい人：1万人、始める人：100人」を乗り越えた方々です。「今日から〇〇をやる！」と決心しても頑張りが続かず、いつのまにか決心したことすら忘れてしまって・・・というような経験は誰もがしたことがあるはずですが、そうならないようにしたいものです。

願うのはそのあとの「続ける人：1人」・・・これが一番難しい！

第59回全日本居合道大会の結果



五段；松田選手が3回戦

六段；ジェームズ選手が4回戦（ベスト8）

七段；横田選手が同じく4回戦（ベスト8）



◆異国からのお客様

チェコスロバキアからマルチナさんが錬心館に来館、館長の井手先生をはじめ、久保先生のアシストにより対応していただきました。

◆ ◆ 経緯 ◆ ◆

日本へ初来日するにあたって、居合道の本場である日本の本格的な道場で稽古を体験したいということで、9月末ごろ福岡県居合道部に相談がありました。

初心者居合道教室案件ではないものの、問い合わせ窓口が広報であったため橋渡しをさせていただきました。

◆ ◆ 内容 ◆ ◆

午後 7時前にご来館、井手先生に挨拶後、稽古着に着替え準備を整え、まずは久保先生と制定居合十二本の相対稽古をされました。

「研究熱心である外国人の 一級は本国の三段に匹敵(井手先生談)」のと通りの技量と感じました。

自国では、週 2回稽古しているというマルチナさんは現在、居合道一級及び剣道二段だそうです。

その後休憩～しばらく懇談の後、井手先生により「納刀」をご指導されました。

ご本人に居合の魅力をお尋ねしたところ、演武の時の静けさの中に感じる「スピリット」だそうです。

東京～大阪～福岡、約二週間の旅行中、日本の本格的な居合道場で稽古を経験できたことが何よりも喜びのようでした

最後は全員で制定 十二本を抜いて稽古を無事終了しました。

今回の体験は良い思い出になったようです。<文章：佐伯>



チェコスロバキアから糸島錬心館へ来られ、本場道場で稽古を体験されたマルティナさん



道場訪問

小倉健康居合道塾

今年新たに設立された「小倉健康居合道塾」（塾長：上田武尚先生）に訪問しました。小倉南武道場はコンクリート打ちっぱなしの空間で、見た目かなり広く感じます。横淵には見学席が設けてあり場所の設計としても使いやすく設計してあるようでした。

道場は現在4名でたまに出稽古に数名来られているようで、稽古も活気ある稽古風景を拝見しました。

上田先生といえば、かなりの豪刀をお使いで、重く！長く！
「力を抜いて刀に動きを任せたらいいんだよ」
とおっしゃっておられますが、小生にはとてもとても抜けそうにありませんでした。

この特殊な会の名称はどのような経緯で？とお聞きすると、年配者が通いやすいように、時間も朝9:30からで月水金週3回と通いやすいようにしているとのこと。

お暇を持て余しておられる方は是非お越しください！

稽古時間：毎週 月水金 朝9:30から
場 所：小倉南武道場



11月・12月の予定

11月 23日 (土・祝)	福岡県居合道稽古・称号講習・級審査会	福剣連	福岡市総合体育館武道場
26日 (火)	称号(教士・錬士)審査会居合道	全剣連	八王子市
17日 (日)	地域稽古会	居合道部	筑後
30日 (土)	居合道七・六段位審査会	全剣連	江戸川区
12月 1日 (日)	居合道八段審査会	全剣連	江戸川区

編集後記

いきなり秋がやってきた感じで、つい2週間ほど前までいつまでも暑いなあと嘆いておりましたが、やはり季節は動いてるんですね。皆様お風邪などめされませんように。

最近よく模擬刀の修理を頼まれます。(といっても鯉口近くの鞘割れとか、鍔のサビ落としてか軽微なものです) 刀身は錆びると中からメッキを突き破ってくるので、メッキが剥がれない程度に研磨するぐらいしかしようがないのですが。

一番よくあるのは柄と鍔の接合部あたりが緩んできて、これをなんとかしたい時、大体皆さんは厚めの紙やら切羽を重ねるなど苦勞されてると思います。私も色々やってたのですが、今回は思い切って柄を作り直してもらいました。も一バッチリですよ！早くやればよかった！！これが緩んでると刀身が折れる原因にもなりますので放っておかず、会の誰かにご相談されてくださいね。

鍔が赤錆びて困った時は鹿の角でゴリゴリ削るんです。その後ウエスで拭き取るんですが、安い鍔の場合は塗装を酸で剥がしてみると結構雑に塗ってるのがよくわかります。

一度洗って磨いて、焼いて乾かして、その上にペンキで塗ってますが、まあ割とうまく行きます。(漆塗って焼き付ける方法もあるそうですが、今度やってみようかなw)

剣を持つ人間として、色々試行錯誤を重ねて失敗ながら装飾してみたりなど、おしゃれをしても良いのでは？と考えてます。

さて、今年も初心者体験教室の募集が終わり、その後も何名か見学体験の希望をいただき、広報としても活発に活動しております。また今年からは、事務局から3月までは各団体に預けっぱなしにせず、初心者の様子を伺いに行ったりしてます。(今までは預けっぱなしですみません) 10月最終日も一人体験されて仲間が増えそうです。

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第220号 令和6年11月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田 36 番地 -1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社 FEW